



地域医療連携室だより



Vol.166

だより内に



発行元 地方独立行政法人
 市立大津市民病院 地域医療連携室
 住所 〒520-0804
 滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
 電話 077-526-8192
 F A X 077-522-0192 発行日:2023年3月1日

市立大津市民病院 検索

が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

新診療局長のご挨拶



こばし ひろあき
整形外科 診療部長:小橋 裕明

この度、診療局長を拝命しました整形外科の小橋裕明です。重責をお引き受けし身の引き締まる思いです。診療局長の仕事は各診療科連携の調整役、取りまとめ役であり、裏方として、1+1が2にも3にもなるよう、微力ながら努力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は平成9年に京都府立医科大学を卒業し、いくつかの関連病院での勤務、整形外科専門医、学位、手外科専門医の取得を経て、平成25年に当院に赴任させていただきました。以後、快く初期対応を引き受けてくださる救急部、ER おおつの先生方、緊急・臨時手術に対応して下さる麻酔科の先生方、手術室スタッフ、合併症の管理をいただく内科系はじめ他診療科の先生方など病院挙げてのバックアップとチームワークの結果、大腿骨近位部骨折をはじめとする、四肢骨折、外傷の手術症例に積極的に取り組んで参りました。また最近、近隣の回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟をお持ちの各病院様のご協力をいただきつつ、保存療法が適応となる高齢者の脊椎椎体骨折や、恥坐骨骨折の初期対応も、マンパワーの許す限り行っています。現在整形外科専門医3名と専攻医3名の計6名体制で、ベテランと若手医師のバランスよく日々の診療が行えていると自負しております。

また私の専門分野である手外科においては、手根管開放を関節鏡視下に行う鏡視下手根管開放術をはじめ、関節鏡視下母指CM関節形成術・固定術、橈骨遠位端関節内骨折の鏡視下整復固定術、鏡視下TFCC切除・縫合術、鏡視下DRUJ関節形成術など、低侵襲である鏡視下手術に力を入れています。また各種腱鞘炎、ガングリオン、ヘバーデン結節など、身近な手外科疾患や手指、手根骨、手関節骨折、腱損傷、末梢神経損傷など手外科外傷の保存療法、手術療法を幅広く行っています。

引き続き、近隣の先生方にご協力いただきながら、地域医療に貢献できるよう頑張っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



新診療部長のご挨拶



外科・消化器外科・乳腺外科

おすすめ わたる
診療部長:大住 渉

2022年10月1日より市立大津市民病院の外科診療部長に着任いたしました大住渉です。2022年4月1日より医長として市立大津市民病院外科での勤務を開始し、はや一年が立とうとしています。前職は大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 下部消化管グループで、下部消化管疾患に関する低侵襲で患者様に優しい腹腔鏡やロボット支援下の鏡視下手術を専門に行っていました。当院赴任後も下部疾患に対する手術加療を担当しています。下部消化管領域の最近のトピックスとしては、直腸がんを引き続き2022年4月からは結腸がんに対してもロボット支援下手術が保険収載されました。以前から当院で使用していました手術支援ロボット da Vinci Si が2022年末に最新モデル Xi にバージョンアップされたので、2023年からは当科でも結腸がんに対してのロボット支援下手術が保険治療で行うことが可能となりました。下部消化管疾患の患者様に対して、従来の開腹手術と低侵襲な腹腔鏡手術・ロボット支援下の中で患者様の状況に合わせた最適の手術が行える様今後も診療を行っています。下部消化管だけでなく、胃がんや胃 GIST などの上部消化管疾患に対する腹腔鏡手術や、鼠径ヘルニアや胆石症などの良性疾患、腹膜炎などの緊急疾患など消化管疾患全般に対しても低侵襲で迅速な対応ができるよう診療を行っていますので、ご相談の程よろしくお願ひ申し上げます。



2022年4月からの我々外科チームの目標は、

- 1)患者さんから、治療を受けて良かったと満足していただくこと
- 2)研修医・専攻医から、一緒にがんばってみたいと思われること
- 3)他の病院から、良い意味で“大津市民病院恐るべし”と言われる様な消化器外科チームを目指し、病院一丸となり『大津市民の健康』を守っていくこと

でした。この初心を忘れず、今後とも市民の皆様や地域の先生方のお役に立てるようチーム一丸となり外科診療を行っていきます。何卒よろしくお願ひいたします。



院内医療安全研修会についてのご紹介

医療の質・安全管理室

医療安全管理者:山中 やまなか りか 利加

平素より当院の医療安全への取り組みにご理解・ご協力を賜りましてありがとうございます。
今回は当院における医療安全研修会についてご紹介いたします。

院内の職員に対する教育や研修は、医療安全には必須のものです。その理由は「スタッフの入れ替わりがある」「求められる資質やレベルが年々向上している」という医療界特有の理由もありますが、何より人間には「一定期間を経過すると忘れる」という性質があり、質を保つためには定期的に研修を繰り返さなくてはならないからです。これに対して当院では年間5~6のテーマに絞り、興味のあるテーマを選んで受講できるように企画をしています。病院という施設は業種も勤務時間帯も違う職員が働いています。それぞれの職種の理解度や興味を考え、自作動画配信、eラーニングの活用などICTを活用した研修を主にしています。これは時間・場所・媒体を固定しない研修を行うことで、受講率を上げていくという目的があるからです。また職種によっては年齢層やICTとの親和性なども考慮し、院内会議室でeラーニングを放映するなど、受講しやすい具体的な対策も行っています。

2022年度の医療安全研修会は下記の6テーマで行いました。

- ①当院の医療安全の取り組み「医療安全に王道なし」 <医療の質・安全管理室 室長講演>
- ②輝け、コミユカ！医療安全のためのコミュニケーション <eラーニング>
- ③患者誤認による重大事故対策を中心に <eラーニング>
- ④医療事故調査制度 <eラーニング>
- ⑤「MRI安全講習」「報告書管理体制について」 <医療技術局 放射線部 臨床検査部>
- ⑥リスクマネージャーの活動報告 <リスクマネジメント部会>

医療法に定めるところにより、医療施設で働く職員は年間2回の医療安全関連の研修受講が義務づけられています。⑤を終了したところで2回受講率は83.4%と、まだ100%には足りていない現状であり、企画と実施の難しさを実感しているところです。

今後も職員が自ら学ぶ意欲を持ち、病院全体でリスクに対して敏感な風土を醸成するために取り組み、みなさまに安心安全な医療をお届けできるよう努力して参ります。

今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



医療安全管理者:木村 きむら ゆりこ ゆり子 室長:高見 たかみ しろう 史朗 医療安全管理者:山中 やまなか りか 利加

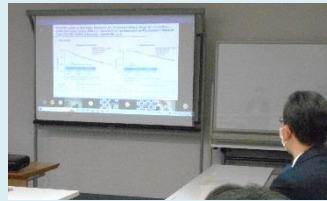
令和4年度 市立大津市民病院 学術講演会・意見交換会を開催いたしました

- 日 時: 令和5年1月26日(木) 16:00~17:00
- 開催方法: Microsoft Teamsを使用したWeb開催
- 配信場所: 市立大津市民病院 9階会議室
- 演 題: 肺がんの標準術式が70年ぶりに変更!! ~肺区域切除について~
- 講 師: 市立大津市民病院 呼吸器外科 診療部長 常塚 啓彰
- 参 加: 院外11名、院内7名
- 共 催: 公益社団法人 大津市医師会/市立大津市民病院

表題の講演会/意見交換会を上記の要領で開催いたしました。

例年は大津市医師会様との共催で病院見学会として開催しているものですが、今年度も昨年同様、現地集合の「病院見学会」を中止し、学術講演会/意見交換会のみをWeb開催いたしました。

今後 YouTube 配信を予定しています。



第2回 市立大津市民病院大学 市民公開講座を開催いたしました

- 日 時: 令和5年2月6日(月)14:00~15:00
- 場 所: 平野コミュニティセンター
- 演 題: 男女不問! 60を過ぎたら便秘に悩むわけ ~便秘の原因と今からできる対策~
- 講 師: 皮膚・排泄ケア認定看護師 大坪有紀子
- 参加人数: 37名

市立大津市民病院大学の市民公開講座を、昨年10月に引き続き感染防止に留意し、出前講座というかたちで平野コミュニティセンターにて開催しました。

講師からは便秘について正しく理解して、自分の排便パターンを評価し、危険な便秘を見落とさないこと、必要時は受診すること、生活習慣や服薬について見直し、便秘の改善に努め、健康で快適な毎日を通しましょう、という内容の講演がありました。

講演後のアンケートからは「便秘の原因を見極めるため一度受診したいと思いました。」「便秘のしくみが良くわかりました。腸活についてのお話も大変よくわかりました。今回の講習を受けて便秘にならないようになりたいと思います。」などの感想を頂きました。



MSW アイコさん

①



②



③



④



作・画 まきろん



クイズの答え: 1ページ目 右下/2ページ目 左下/
3ページ目 タイトル内/4ページ目 市民公開講座右下/
MSW アイコさんタイトル内

※マスクは外して描いています。